

分娩監視にカメラを活用しよう！



冬は寒くて牛舎まで何回も分娩を確認しに行くのが辛い…
家から確認できればいいのに…



分娩事故を減らす方法があればいいのに…



そんな時は…分娩監視カメラを活用しましょう！

カメラの活用例



カメラと連動したスマホから撮影された乾乳牛の様子



カメラの操作画面

家や出先から監視が可能に！

※スマホとカメラの連動にはWi-Fi環境が必要です。



画面は綺麗だし、見やすそうだけど…
カメラの値段は？
夜は暗くて見えないんじゃない？

Q1：カメラの価格はどのくらい？

機能（防水・防塵、画素数など）によって変わりますが、2千円～2万円ぐらいの価格帯です。
1万円程度のカメラだと映像が明瞭で使いやすくなります。

Q2：夜でも見える？

カメラに付属のライトや、暗視機能を搭載したカメラを使用することで夜でも監視が可能です（暗視機能は赤外線ライトを搭載したカメラのみ使用できます）。



日中の様子



夜間の様子(ライト使用)

Q3：電源の取り方は？

電源はコンセントによる有線の充電と、バッテリーや乾電池で充電する無線の2種類があります。

バッテリーはフル充電で2週間～1ヶ月程度稼働します。

カメラの設置場所とコンセントの位置から、牛舎に合ったものを選びましょう。

使用者の声

- ・カメラを設置してから自然分娩させる頭数が多くなり、分娩事故が減少し、満足している。
- ・新しいカメラは視点移動や暗視機能があり、観察が容易になった。

具体的な設置事例を知りたい方は、
お気軽に普及センターにご相談ください！

■お問い合わせ 宗谷農業改良普及センター本所 01634-6-1441
宗谷北部支所 0162-82-2119

HPは
こちらから→

